

# 第2回 黒部市総合振興計画審議会 議事概要

平成 29 年 2 月 23 日（木）14：00～16：00  
場 所：黒部市民会館 101 会議室

## 次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 報告事項  
    前回審議会以降の経過について
4. 審議事項  
    (1) 施策体系（案）・重点メニューについて  
    (2) 第2次黒部市総合振興計画中間報告（案）について  
    (3) その他
5. 閉会

## 主な発言（検討）内容

○：委員からの質問・意見、●：議長、事務局の意見・回答

### 1. 開会

●事務局：只今から、第2回黒部市総合振興計画審議会を開会する。公益社団法人 黒部青年会議所の四月朔日委員が組織替えのため、岡島委員と交代、富山県警の2月20日付異動により、黒部警察署津田署長から、坂田署長に代わっていること、ご報告申し上げます。

### 2. 会長あいさつ

会長より、挨拶

### 3. 報告事項 前回審議会以降の経過について

事務局より、資料1について説明

●会長：事務局からの説明について、質問はないか。特に無いようであるので、報告事項について承認いただけたとして次に進めさせていただく。

### 4. 審議事項（1）施策体系（案）・重点メニューについて

事務局より、資料2について説明

●会長：全体を見て、質問等はないか。資料の左のページに「新」が付いているが、右では消えているものがある。何か意味はあるのか。

●事務局：左側は現行計画のメニューに記載されていなかったものに「新」をつけている。右側は現行計画の改訂ということで「新」を取ったものとなっている。

●会長：赤字が訂正されたということであるが、3ページでは経営安定化対策事業など項目そのものが赤字になっている。これは「新」ではないのか。

●事務局：現行計画では、工業の振興に商業共通の事業メニューとして経営安定化対策事業があり、今回、工業・商業それぞれの分野に合わせて事業を整理した方がいいとの意見を反映した結果である。

●会長：その他、意見はないか。

○A委員：部会によって施策の中分類や事業メニューの量が異なる印象がある。全体として事業メニューのボリュームに応じて取組内容が変わってくると、理解してよろしいでしょうか。

●事務局：各分野の中で、市が携わっていくべき活動、取り組みについて、意識せずに分類した結果である。部会に応じて、特に意識して増減したことはない。

●会長：意識もそうであるが、質問の内容はおそらく分散している、あるいは多すぎるのではないかという指摘かと思う。重点メニューの丸が付いていないものも、最終的に具体的な事業として、取り組んでいくという意図か。

●事務局：事業メニューとして挙がっているものについているものは、しっかりと進めていく。重点メニューについては、特に力を入れるということになるかと思うが、それ以外のメニューについてもしっかりと取り組むということである。

○B委員：第2部会でも話をさせていただいた道の駅の件についてであるが、ハードは第3部会の道路整備の中に位置づけられていいと思うが、道の駅の運営は、第2部会の産業が密接に関係する。部会横断的なものが出てくるはずであり、ハードとソフトを重複して記載しても良いと思うがいかがか。

●事務局：道の駅については、第3部会でハード整備のメニュー化をしている。活用については、道の駅の活用といったメニュー化はできていないが、第2部会の農林水産業の振興の生産・流通・販売対策促進事業等の個別事業に含まれてくると思う。

●会長：質問の主旨は、メニュー化してみてもどうかということかと思う。

●事務局：今の時点で道の駅の活用について事業メニューに項目立てたとしても、内容が追いついていない面があるため、計画では見直しもかけていく段階で具体的に事業メニュー化、あるいは中分類に挙げることを考えていきたい。

●会長：今の意見は非常に大事である。横断的に効率化することは、何らかの形で見えるように進むとことが大事である。議事録に書いておいてほしい。その他、特に意見が無いようであるので次に進む。

### 3. 審議事項（2）第2次黒部市総合振興計画中間報告（案）について

事務局より資料3-1、3-2、3-3について説明

●会長：事務局からの説明について質問等はないか。

○C委員：新幹線駅周辺の発展は忘れてはならないものだと思う。現在の市政の考えをもう一回、教えてほしい。

●事務局：黒部宇奈月温泉駅周辺がなかなか発展していない、もっと発展させるべきだというご意見だと思う。今後、民間の企業誘致や駅周辺のふれあいプラザ、ギャラリーの活用をさらに今後、進めていきたい。

○C委員：駅前には、いくつかの商業施設がないと、利用する人にとっても不便である。企業誘致をしっかりとやっていただきたい。

●都市建設部長：黒部市には、生地、石田、三日市の市街地があり、それらの市街地への影響を考慮して新幹線駅周辺を市街化しないこととして整備計画を策定した経緯があるので、市としては新幹線

駅周辺の市街化は考えていないと旨、ご理解をいただきたい。

○C委員：黒部市のお金を使って市街化を進めるのではなく、できるだけお金を使わないで、都会から企業を誘致することは可能だと思う。もう少し努力していただきたい。

○A委員：第3部会でも、同じような視点の意見が出ていた。施策体系一覧の事業メニューの中にも、公共交通の基盤となる鉄道の環境整備は、重点課題の一つであり、第3部会の中でも触れられていた。

●会長：個人的な意見であるが交通拠点・結節点として、来訪者の移動を円滑にし、賑わっている所に向かってほしいと思う。先程の意見は、そのような人たちが集まる所をもっと活性化させる仕組みを盛り込んだらということかと思う。

○D委員：個人的な意見であるが、叩いても突いても響かないというのが三日市である。黒部市では、どのように中心市街地を活性化させようと努力しているのか聞いてみたい。

●事務局：事務局では、第2次に向けての事業はまだ把握していないが、今まで空き店舗を活用した出店に対する支援や頑張る商店街支援事業などに取り組んでいる。また、駐車場、トイレなどの市街地の公共施設整備も行っている。

○D委員：市街地でお祭りをすると、うちのお店のトイレだけが繁盛する。墓場にあるトイレはだれも行かない。お店が活性化してくれればうれしいが、本当にトイレだけが活性化している現状を知ってほしい。

●会長：これまでの賑わいの活性化モデルと異なる新しいモデルを考えていくべきかと感じた。11月まで土地利用は継続審議する理解で良いか。

●事務局：土地利用のほか、個別事業等についても、今後、検討していくことになる。

○E委員：食は産業や教育、市民の生活に大きく関わってくるため、基本方針1から6に一言でも良いので記載してほしい。

●会長：先ほどの交通結節点を起爆にして、中心市街地を活性化する新しいモデルを考える旨の提案はしかるべき部会で検討する。食について、食育や産業にてどのような扱いをしているのか。基本方針すべての項目に入れるという意図か。

○E委員：私の部会では、「知徳体」の体に食育が含まれるとの話があった。ただ、もう少し詳しく親切に、わかりやすく記載したほうが、未来の子どもたちに良いと思った。

●事務局：食育については、事業メニューの方では、第2部会の農林水産業の振興に地産地消と食育の推進というメニューがあるが基本方針の文言には入っていない。そこで基本方針2「地域の活力を生み出す産業育成のまちづくり」に「農林水産業活性化では、持続可能な経営を目指し、担い手の確保・育成や生産基盤の充実、地域で消費する地産地消の推進を図ります」と記載があり、そこに食育という言葉を追加するような形ではどうか。

○E委員：食は、教育に関することと思う。産業の中の土産づくりは、食育に該当するかはわからない。

●会長：部会で何か議論はあったのか。

●事務局：知徳体というところで、食も入れてはどうかとの意見をいただいたが、教育では、体に食が含まれるため、食をあえて入れていない。食育については、農林水産課が担当していることもあり、第2部会の産業の中に書いても良いのではないかと思う。

○F委員：食育を否定するわけではないが、自然な流れであれば基本方針5に該当すると思う。ただ一方で、基本方針5については、第5部会でしっかり議論をされている。この場でもう一度議論することに対していかがかと思う。

○G委員：10 ページに次代を担う子どもの育成に知徳体が記載されており、そこには「子どもたちの食生活の乱れ」についての指摘がされている。それ踏まえた形で 27 ページの「知」「徳」「体」につながっており、第5部会としては、前段にも後段の両方に「知」「徳」「体」が記載されていることから、読み手に伝わるとして決着している。

●会長：今の説明で納得できた。したがって、特段、第2に入れる必要はない。ただ、部会で決まったから発言してはいけないということはない。理解しながら進めていくべきである。

○B委員：今の意見は、食育という言葉がどこかにほしいということだと思う。

●会長：この総合計画は、市の最上位計画であり、細かい文言ではなく、全体の考え方に焦点をあてたいと思う。

○E委員：私は「食育」と「食農」の2つの言葉を入れてほしいと思う。食はすべて農業から、土から出るので、2つ入っていたらと思う。

●会長：私のまとめとしては、具体的なことについては、次のステージにしたらどうかと思う。

○A委員：家庭科教育の流れを紹介させていただくと、以前は、食は別格という扱いがあったが、現在では、衣食住でまとめている。逆に家族関係等を教育していかなければならないという流れであるため、現状が最も良い形かと思う。

●会長：細かいところを切り捨てるわけではないが、議長として、考え方に焦点を当てたいと思う。この原案から変更しないこととする。

○A委員：第4章の住民意向の動向は重要な章であると思うが、市内において市民や若者が、どういう分布であるのかをクリアにした方が良い。回答者は市民の何割を占めているのかなど、冒頭に書くほか、結果だけではなく、考察も記載した方がいいと思ったので、感想を言わせてもらった。

●事務局：この考察の部分については、第5章でまとめている。また、市民全体からみた回答者の属性は追加可能である。

○A委員：回答者を市民 20 歳以上と中高生で分けた理由を説明した方が、意義がある調査になると思う。

●会長：若い人にも焦点を当てたまちづくりに向けて、20 歳以上の市民と中高生を分けたのではないかなと思った。そういう意図はなかったのか。

●事務局：若い世代の意見や考え方を把握するため、市内4中学校と高校の2年生を対象にアンケートを実施した。

●会長：今のことが、記載されればよいかと思う。

●事務局：調査概要に説明文を追記したいと思う。

○H委員：細かな点になるが、31 ページの都市基盤の水道の整備に関する文言において、部会では、水道の普及率の向上に関する整備についての記載がないと言ったつもりである。重点メニューとしても水道の整備推進とされているため、整備推進について追記した方がいいのではないか。

また、公園・緑地の整備の1行目で、公園・緑地の整備を推進となっているが、部会では、新たに重点的に整備する公園がないため、推進という言葉は取ったはずである。

●上下水道部長：整備推進について表現を検討したい。

○H委員：水道の普及率は60数パーセントしかないということで、部会でも、市が重点メニューに入れたことを踏まえると記載するのが普通かと思う。老朽化対策と管理は別の問題である。加入率の向上は、管が整備されていることとは別ではないかと思う。

●上下水道部長：本管も配備している中、井戸を使う家庭も多く、施設の整備も推進し、加入率の数

字をもう少し上げていきたいと考えている。

●会長：意見は、整備のことより老朽化や既存施設の利用について記載されていることに違和感があるとのことではないか。個人的には施策に水道の整備と書いてあるから良いかとも思う。もう1点は、公園についてであるが、新たに作る公園が無い中、整備を推進するというのはおかしいのではないかとということである。

●事務局：今ほどの意見、確かに指摘いただいている。もう一度、整理させていただいて反映したい。

●会長：確定すると身動きがとれなくなることが懸念される。中間報告の扱いを説明してほしい。

●事務局：いつまでも継続していると、次の検討に入らないため、資料の青色は確定したいという思いはある。ただ、これで変えられないということではなく、最終の報告の際に変更はあり得る。

●会長：意見は聞くが、蒸し返さないようにしたい。ご協力をお願いしたい。事務局からの説明のとおり、資料の青色部分は、承認いただき、市長へ報告する。また、黄色の部分については引き続き検討をしていきたいと思う。その他意見はあるか。

○I委員：土地利用イメージ図において宇奈月ダムを具体的に旗揚げしており、宇奈月ダムを管理する立場から大変ありがたいと思っている。地域に開かれたダムとして、引き続き宇奈月温泉と連携し、できるだけ来訪者に来ていただくような取り組みを進めたいと考えており、わかりやすく旗揚げしていただくと、我々の後押しになっていただけると感じ、コメントをさせていただいた。

●会長：少し修正を加える部分があると思うが、中間報告をさせていただく。

#### 4. 審議事項（3）その他

事務局より、まちづくり方針の並び順について説明

●会長：将来都市像が大自然のシンフォニーから始まっているとともに、山から海の自然に恵まれている背景を踏まえると、自然との共生に関する方針から始まって良いと思う。

○F委員：個人的な意見ではあるが、順番については、会長に一任したいと思う。

●会長：私は論理的に、整合性があると感じている。庁内で決められたことかもしれないが、諮問における特に検討が必要な重点課題も同様の順番になっている。その点から見ても、このままで良いかと思う。副会長の意見を伺いたい。

●副会長：長い間、この並びでやってきているので、特にこだわらなくても良いと思う。

●会長：審議会としては、現状の並びで進めることとして答申したい。それでは、含みを残して申し訳ないが、第2次黒部総合振興計画中間報告を答申させていただく。異議無ければ拍手をいただきたい。

(拍手)

●会長：今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いしたい。

事務局より、今後のスケジュールについて説明

●会長：以上で、本日の審議事項は一通り終了した。最後に副会長より一言いただきたい。

●副会長：超高齢社会の進行とICTの進展が著しい中、IT弱者の顕在化も一層激しくなると想定される。IT弱者が孤立しない視点を総合振興計画の中に含まられればと思う。

●事務局：10ページの時代の潮流に今の視点の文言を追記させていただきたい。

●会長：では、追記については、会長一任にて内容を確認させていただく。引き続き、来年度もご協力を重ねてお願いしたい。

## 6. 閉会

●事務局：会長には円滑な議事進行、また委員の皆様においては長時間の審議感謝申し上げます。次回は4月27日に総合振興計画の前期基本計画策定方針について審議いただきたいと考えている。来年度も引き続きご審議をお願いし、第2回黒部市総合振興計画審議会を閉会する。

以上

